

法人名	独立行政法人北海道開発土木研究所（平成 13 年 4 月 1 日設立）＜特定＞ （理事長：斉藤 智徳）
目 的	北海道開発局の所掌事務に関連する土木技術に関する調査、試験、研究及び開発等を行うことにより、北海道の開発の推進に資する土木技術の向上を図ることを目的とする。
主要業務	1 北海道開発局の所掌事務に関連する土木技術に関する調査、試験、研究及び開発を行うこと。2 1 に掲げる土木技術に関する指導及び成果の普及を行うこと。3 1 及び 2 に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。
中期目標期間	5 年間
委員会名	国土交通省独立行政法人評価委員会（委員長：木村 孟）
分科会名	北海道開発土木研究所分科会（分科会長：五十嵐 日出夫）
国土交通省独立行政法人評価委員会の評価基準（手法）の概要	項目別評価等 1 業務運営評価 ・年度業務実績報告の各項目ごとに中期目標の達成に向けた中期計画の実施状況について検討し、4段階（0点～3点）を基本とした段階的評価を行う。（平成 13 年度は、「中期計画の達成に向け着実な実施状況にあると認められるか否か」の 2 段階で評価）。 3 点：特に優れた実施状況 2 点：着実な実施状況 1 点：概ね着実な実施状況 0 点：業務改善が必要 ・業務運営評価の個別項目の認定結果から、当該年度の業務の実施状況全体について以下のとおり判断することを原則とする。 ①（各項目の合計点数）／（項目数に 2 を乗じた数）が 130% 以上である場合：「極めて順調」 ②（各項目の合計点数）／（項目数に 2 を乗じた数）が 100% 以上 130% 未満である場合：「順調」 ③（各項目の合計点数）／（項目数に 2 を乗じた数）が 70% 以上 100% 未満である場合：「概ね順調」 ④（各項目の合計点数）／（項目数に 2 を乗じた数）が 70% 未満である場合：「要努力」

国土交通省独立行政法人評価委員会の評価基準（手法）の概要	2 自主改善努力評価 自主改善努力が意欲的かつ前向きで、優れた実践事例として認められる場合には、「相当程度の実践的努力が認められる」として総合的な評定にプラス評価として加味する。 （注） 評価基準の変更に伴い、平成 13 年度業務実績評価で実施された個別業務評価（法人の自己評価が説明責任を果たしているかどうかについてのアカウンタビリティ評価）は、実施されていない。 総 合 評 価 業務運営評価及び自主改善努力評価を踏まえ、総合的に評定する（平成 13 年度は、業務運営評価及び個別業務評価並びに自主改善努力を踏まえ、総合的に評定）。																
国土交通省独立行政法人評価委員会の評価結果の概要	項目別評価等 ○ 評価結果 ＜業務運営評価＞ 1 業務運営の効率化 「事務の効率化」、「研究評価」等 3 つの中項目について、6 つの評価項目を設定して評価を実施（平成 13 年度は、6 つの評価項目のうち「一般管理費の抑制」については、評価対象外） <table><tr><td>年 度</td><td>平成 13</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td>評価結果（項目数）</td><td>○：5</td><td>2 点：6</td><td>2 点：6</td></tr></table> （注） 平成 13 年度の○印は「着実な実施状況にある」との評定である（以下の項目も同様）。 2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 「重点研究領域の設定」、「他機関との連携等」、「技術の指導及び研究成果の普及」等 5 つの中項目について、26 の評価項目を設定して評価を実施（平成 13 年度は、5 つの中項目のうち、4 つについて 20 の評価項目を設定して実施。また、「重点研究領域の設定」の評価については個別業務評価（アカウンタビリティ評価）を実施）。 「産学官の連携と土木技術の共同研究開発の推進」については、目標値を大幅に上回る成果を上げている等として 3 点に評価しているほか、計 11 項目で 3 点の評価 <table><tr><td>年 度</td><td>平成 13</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td>評価結果（項目数）</td><td>○：20</td><td>3 点：4、2 点：21、 1 点：1</td><td>3 点：11、2 点：14、 1 点：1</td></tr></table>	年 度	平成 13	14	15	評価結果（項目数）	○：5	2 点：6	2 点：6	年 度	平成 13	14	15	評価結果（項目数）	○：20	3 点：4、2 点：21、 1 点：1	3 点：11、2 点：14、 1 点：1
年 度	平成 13	14	15														
評価結果（項目数）	○：5	2 点：6	2 点：6														
年 度	平成 13	14	15														
評価結果（項目数）	○：20	3 点：4、2 点：21、 1 点：1	3 点：11、2 点：14、 1 点：1														

国土交通省独立行政法人評価委員会の評価結果の概要

3 予算、収支計画及び資金計画<平成 13 年度：一、14 年度：2 点、15 年度：2 点>

4 短期借入金の限度額<平成 13 年度：一、14 年度：一、15 年度：一>

5 重要な財産の譲渡等<平成 13 年度：一、14 年度：一、15 年度：一>

6 剰余金の使途<平成 13 年度：一、14 年度：一、15 年度：一>

7 その他業務運営に関する事項

「施設及び設備に関する計画」及び「人事に関する計画」の 2 つの中項目について、7 つの評価項目を設定して評価を実施

なお、「研究能力の高い研究者の育成」は、若手研究発表会や大学院博士後期課程進学助成規程による博士号取得の奨励などを実施し、研究者の能力の育成を積極的に実施していることや、数多くの権威ある賞を受賞している等として 3 点の評価

年 度	平成 13	14	15
評価結果（項目数）	○：7	3 点：1、2 点：6	3 点：1、2 点：6

◎ 項目全体の実施状況に対する判断

年 度	平成 13	14	15
評価結果	順調	順調（合計点：84 点、105％）	順調（合計点：91 点、114％）

<自主改善努力評価（平成 15 年度）>

（結果：相当程度の実践的努力が認められる。）

<参考> 定量的指標の実績（平成 15 年度）（例）

指 標	中期計画	年度計画	実 績
共同研究の件数	目標期間（5 年間）中に 60 件新規に実施	（12 件）	31 件
論文発表件数	目標期間中に 5％増加（5 年間で 1,400 件）	（280 件）	449 件
特許等の出願件数	目標期間中に 10％増加（5 年間で 15 件）	（3 件）	6 件

＜自主改善努力評価（平成15年度）＞
（結果：相当程度の実践的努力が認められる。）

《参考》定量的指標の実績（平成15年度）（例）

指 標	中期計画	年度計画	実 績
共同研究の件数	目標期間（5年間）中に60件新規に実施	（12件）	31件
論文発表件数	目標期間中に5%増加（5年間で1,400件）	（280件）	449件
特許等の出願件数	目標期間中に10%増加（5年間で15件）	（3件）	6件

国 土 交 通 省 独 立 行 政 法 人 評 価 委 員 会 の 評 価 結 果 の 概 要	総 合 評 価			
	○ 評価結果			
	年 度	平成13	14	15
	評価結果	3（業務運営評価：順調2、個別業務評価：良好1）	・業務運営評価：順調 ・自主改善努力評価：○	・業務運営評価：順調 ・自主改善努力評価：○
政策評価・独立行政法人評価委員会の意見	（注）1 「個別業務評価」は、評価基準の変更により、平成14年度からは実施されていない。 2 平成14年度及び15年度の「自主改善努力評価」の○印は、「相当程度の実践的努力が認められる。」との評定である。			
	○ 評価の理由、特記事項等 （業務全般に関する意見）			
	独立行政法人に移行して3年が経過し、全般的に研究成果があがりつつあり、かつ研究者個人の意識の確実な向上も見られる。			
	公共事業の量が減少する状況において、行政機関の土木技術力の低下が懸念される。一定の技術レベルを確保するために、北海道開発土木研究所が果たすべき役割・機能は重要であり、一層努力すべき。			
ホームページ	主要な事務及び事業の改廃に関する勧告の方向性を指摘。			
	法 人：http://www.ceri.go.jp 評価結果：http://www.mlit.go.jp/hyouka/jisseki/h15.htm			